

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 11 回 定例委員会
日 時	平成22年8月23日 自 15時02分 至 16時47分
場 所	苫小牧市役所第2庁舎1階会議室
出席委員	委員 長 吉 本 俊 憲 委員 鈴木 正 樹 委員 佐 藤 郁 子 委員 佐 藤 守 委員 山 田 眞 久
欠 席 委 員	
会議録署名委員	佐 藤 郁 子 委 員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 近江谷 健
事務局職員	学 校 教 育 部 長 須 藤 孝 生 ス ポ ー ツ 生 涯 学 習 部 長 小 野 寺 徹 示 学 校 教 育 部 次 長 福 田 小 夜 子 指 導 室 長 岩 井 真 二 規 総 務 企 画 課 長 戸 村 真 真 規 学 校 教 育 課 長 田 中 章 嗣 学 校 教 育 課 副 主 幹 村 上 孝 一 総 務 企 画 課 総 務 係 主 査 三 橋 大 輔 学 校 教 育 課 学 務 係 主 任 主 事 稲 場 和 宣 総 務 企 画 課 総 務 係 主 事 平 田 拓 也
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（吉本委員長） …15時02分
2	会議録署名委員の指名（佐藤郁子委員）
3	報 告（教 育 長）
	・先週18日から小・中学校の2学期が始まった。今年の夏季休業中は全国的に猛暑が続き、熱中症や水・山の事故が起きていたが、本市の子どもたちに関する大きな事故報告はなく安堵している。
	・この間、中学生の中国秦皇島派遣事業、植苗中学校生徒の中国視察研修、3名の中学生の広島平和祈念祭派遣、5年生のトヨタ自動車本社工場取材など様々な教育関係の事業があった。スポーツ文化関係では、北海道教職員体育大会、第5回全国高等学校選抜アイスホッケー大会、中体連ソフトテニスの全道大会、全道空手道大会、PMFコンサート、リーダー養成事業のアルテンでのキャンプ、社会福祉協議会のボランティア体験事業、王子製紙所蔵の美術展、博物館特別展「紙を作る・紙で作る」、埼玉県入間市の中学生と市内5校との交流、科学の祭典やJAXAの的川先生による「はやぶさ物語」の講演会も盛会だった。
	・教員に関しては、市教委や研究所主催の研修講座が10講座以上開かれた。また、退任したALTの後継者として、ニュージーランド人のダニエル、オーストラリア人のアンドリューが着任した。なお、小学校教科書採択にかかわる検討研究委員会や教育委員による学習会を進められたことも併せて報告する。
	・市内では最近コンビニ強盗、車上荒らし、幼稚園・保育所荒らしが多発しているとの報道がある。また、警察情報だが6月までの上半期で深夜徘徊が例年の3倍となっているようだ。残暑が続くうちは水の事故防止対策が必要だし、新学期早々は欠席者を確認し、家出等の非行問題の早期発見が必要なので、こうしたことを働きかけてい

る。

(吉本委員長) 教育長報告に関連してご質問があればお受けしたい。

(一同「なし」の声)

4 議案審議

議案第1号 平成22年度教科用図書採択について

(学校教育課長)

・平成22年度は、平成23年度から使用する小学校用教科用図書の採択と、小学校及び中学校特別支援教育用教科用図書の採択となる。本件の採択にあたっては、5月の定例教育委員会で採択要領と調査研究委員会要綱及び採択に係る文書の公表の方法等について決めていただいた。それに従って、7月2日に調査研究委員の委嘱をし、各種目の調査研究を開始した。8月6日には、各種目の小委員会委員長より教育委員の皆さまへ調査研究結果の報告をした。調査研究項目としては、まず1つ目として「取扱内容」、2つ目に「内容の排列・構成・分量等」、3つ目に「使用上の配慮等」、最後の4つ目として「その他」、以上4点の観点から取りまとめられており、その際の報告書については採択参考資料として提出されているので、詳細については省略させていただきます。また、その報告書を基に教育委員の皆さまには8月17日、18日に勉強会を開いていただき、学習意欲を引き出すことができるか、学力向上が期待できる内容か、発展的学習や応用力の向上が工夫されているか、北国の地域性や特色を生かした教材が見られるか、使いやすさがあるかなどを、各教科用図書について考査していただいた。

・本日は教科用図書一覧から11種目を各種目1社採択していただくよう、審議をお

<p>願いたい。さらに、平成23年度に使用する小学校及び中学校特別支援教育用教科用図書については、小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒で、当該学年用の文部科学省検定済教科書の使用が適当でない場合に使用できるようにする教科書になることから、文部科学省検定済教科用図書の下学年用、文部科学省著作教科用図書、一般図書のすべてを採択するようお願いしたい。</p>
<p>・なお、教科書展示会を6月18日から7月7日まで教育センター4階の教科書センター及び、中央図書館で開催したが、期間中、教科書閲覧名簿兼意見書は両展示先で合わせて5件となっており、閲覧者からの意見は特になかった。また、採択参考資料として、先ほど説明した「平成23年度から使用する小学校用教科用図書の調査研究結果報告書」と、「平成23年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）採択参考資料」を提出しているので、審議をよろしく願いたい。</p>
<p>（吉本委員長）先日の教育委員による勉強会の内容を踏まえた上で、教育長よりまとめとして説明をお願いしたい。</p>
<p>（山田教育長）去る8月17日、18日に教育委員による勉強会を実施した。これは8月6日の各小委員会の委員長の報告を基に、教科書の記述と照らし合わせての内容確認を行ったものだ。ただ、例えば国語については五つの会社があり、6学年分の上下巻を合わせると60冊という膨大な量になることから、勉強会以前にも各教育委員には個別に目を通していただいていた。勉強会においては、できるだけ1社に絞れるように意見交換を進めてきた。今回特に慎重に協議したことは、10年サイクルで大きく改定する学習指導要領が新しくなったという点で、その最初の教科書採択であるということから、その趣旨に沿った内容になっているか、基礎・基本の定着の部分と発展的内容がどのように取り上げられているのか、さらに子ども達の学習意欲を喚起するような工夫がなされているか、つまり子ども達が新しい教科書を手にして、わ</p>

くわくしながら進んで学びを促すような工夫が見られる構成になっているのか、ということについて注目してきた。児童にとっても、指導にあたる教師にとっても新鮮な受け止め方をする中で、知りたい・学びたい、あるいは教えたい・支援したいという相互作用が働いて興味・関心が高まり、意欲が継続できるような教科書を採択したいという思いで検討を進めてきた。この結果、すべての教科書の採択を勉強会において絞り込むことができたので、委員長より発表をお願いし、皆さんに最終決定の同意をいただきたい。
(吉本委員長) それでは、平成23年度から使用する小学校用教科用図書について、種目ごとに私の方から発行者と書名を発表し、主な採択理由については教育長より発表していただく。
(吉本委員長) まず国語については、発行者は光村図書出版株式会社、書名は「国語」である。
(山田教育長) 理由は3点ある。1点目は、単元冒頭の「活動の流れ」に学習の手順を示すなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されており、また知識・技能の習得、活用、探究を繰り返し、定着するように構成され学力向上が図られるよう配慮されていること。2点目は、巻末付録は補充的な学習や発展的学習に活用できる資料が掲載されていること。3点目は、5、6年生は上下巻に分けず一冊の合本にしており、児童が学習内容を見通したり振り返ったりすることができるよう工夫されていることを高く評価した。
(吉本委員長) 本件について質問や意見がなければ承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
(吉本委員長) 書写に進ませてください。書写は国語との関連性もあるが、発行者は光村図書出版株式会社、書名は「書写」である。
(山田教育長) 採択理由の1点目は、書写の基礎・基本が身に付くとともに、書くこ

<p>との喜びがもて、身に付けた力を日常に生かすことができる内容になっていること。2点目は、児童の課題発見を促したり国語科との関連を図った教材を掲載したりするなどして、意欲的に学習できるように工夫されていること。3点目は、巻頭にその学年の学習内容全体を理解できるようにしたり、巻末に次の学年の学習内容を示したりするなど、児童が意欲をもって取り組むことができる工夫がされていること。</p>
<p>国語と書写を別にするという考えもあったが、特に硬筆の部分を考えたときに、両方が一致していた方がいいという結論となった。</p>
<p>(吉本委員長) 本件について質問や意見がなければ承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>(吉本委員長) 社会に進ませてください。発行者は教育出版株式会社、書名は「小学社会」である。</p>
<p>(山田教育長) 採択理由の1点目は、北国の地域性を生かした教材が多く取り上げられており、児童の興味関心を高め社会生活について理解が深まる内容になっていること。2点目は、基礎的な知識を定着させる資料やグラフが多く表示されているとともに、問題解決的な学習や発展的学習に広げる工夫がされていること。3点目は、主体的な学習が身に付くような工夫がされているとともに、表現力・コミュニケーション能力の育成や、総合的な学習の時間の導入にも配慮された内容となっていること。特に社会科の場合は3年生から6年生までということで、3年生と4年生は主として郷土学習をし、地元の苫小牧の副読本を使うので、教科書の方でも北海道を多く取り扱っている方が非常に身近に感じられるのではないかとということで論議された。</p>
<p>(吉本委員長) 本件について質問や意見がなければ承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>(吉本委員長) 地図に進ませてください。発行者は株式会社帝国書院、書名は「楽し</p>

く学ぶ 小学生の地図帳」である
(山田教育長) 採択理由の1点目は、都道府県や世界の国々の名称と位置がわかる3ページ大地図を掲載し、日本全図の分量を多くして児童の興味関心を高めるとともに、地理的解釈を深めるよう配慮されていること。2点目は、北海道でいうと苫小牧市を中心にした道南部の地図を掲載したり、各支庁や北方領土がわかりやすく掲載されたりするなど、地域素材を生かした活動ができる内容となっていること。3点目は、今日の課題である環境問題について掲載し、児童の学習意欲を高める工夫がされていること。地図については4年生から各都道府県を必ず覚えなければならないという新しい指導が入ってくるし、やはり北海道の部分を一番見る機会が多いと思うので、苫小牧周辺がクローズアップされた大きな記述になっているということが、非常にプラスになるのではないかということが話題となった。
(吉本委員長) 本件について質問や意見がなければ承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
(吉本委員長) 算数に進ませていただく。発行者は株式会社新興出版社啓林館、書名は「わくわく 算数」である。
(山田教育長) 採択理由の1点目は、新しい単元の学習へ向けた導入ページを掲載したり、複数の考え方を取り上げたりするなど、主体的に学習できるよう工夫されていること。2点目は、基礎・基本の内容確認や興味・関心に応じた問題への取組ができるようにして、意欲的な学習を促す工夫がされていること。3点目は、発達や学年の段階に応じた反復による学習を充実させ、基礎的基本的な知識・技能の確実な定着が図られる内容になっていること。特に算数はボリュームが増えて基礎・基本の部分と発展的な部分が非常に特徴的に出てきて、発展的な問題が増えており、それはどの教科書も同じように扱われていたと思うが、子

<p>ども達にとって今、採択理由で述べたようなことが特にこの教科書が</p>
<p>使いやすいと判断した。</p>
<p>(吉本委員長) 本件について質問や意見がなければ承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>(吉本委員長) 理科に進めさせていただく。発行者は東京書籍株式会社、書名は「新</p>
<p>しい理科」である。</p>
<p>(山田教育長) 採択理由の1点目は、単元の導入時に関連する既習の学習事項を示し</p>
<p>学習の準備が図られるとともに、学習の系統性が明確になるよう配慮</p>
<p>されていること。2点目は、研究の仕方を示したり学習に関連した様々</p>
<p>な観察・実験を取り上げたりして、児童の主体的な学習を促す工夫が</p>
<p>されていること。3点目は、他の教科書と違ってこの教科書はAB判</p>
<p>ということで一回り大きくなっていることから、豊富に写真やイラスト</p>
<p>ト、図表などを掲載することで、たいへん見やすくなっている。今日</p>
<p>の理科嫌いを何とかなくそうという点で、子ども達の学習意欲を高め</p>
<p>る工夫がされていることで絞り込んだ。</p>
<p>(吉本委員長) 本件について質問や意見がなければ承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>(吉本委員長) 生活に進めさせていただく。発行者は教育出版株式会社で、書名は「せ</p>
<p>いかつ」である。</p>
<p>(山田教育長) 採択理由の1点目は、写真や詩の掲載、活動の視点や注意点の提示な</p>
<p>どにより、児童の興味・関心を高め、意欲的に学習できるよう工夫さ</p>
<p>れていること。2点目は、自己評価欄や学習記録欄を設け、児童が主</p>
<p>体的に学習できるように工夫されていること。3点目は、学習や日常</p>
<p>生活に必要なスキルを示したり、他教科との関連や合科てきな指導の</p>
<p>目安を付けたりするなどの配慮がされていること。生活科は小学校の</p>
<p>1・2年生だけで扱われており、過去は理科や社会があったのだが、</p>

<p>これがなくなって生活全般に関わる内容になってきたということで、</p> <p>まだ文字の導入されていない段階で特にこの教科書の冒頭の写真のインパクトだとか、非常にそういうところが子ども達に喜びを感じさせるのではないかとということが話題になった。</p>
<p>(吉本委員長) 本件について質問や意見がなければ承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>(吉本委員長) 音楽に入らせていただく。発行者は教育出版株式会社、書名は「小学音楽 音楽のおくりもの」である。</p>
<p>(山田教育長) 採択理由の1点目は、学習のねらいや活動のポイントを示し、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されていること。2点目は、各単元やまとめページで、音楽に関わる要素を示し理解を深めるとともに、興味・関心を高められるような内容となっていること。3点目は、大きなA B判を用いて楽譜や写真、イラストを大きく掲載し、児童のイメージを喚起するよう工夫されていること。特に1年生の鍵盤楽器、あるいは3年生の笛導入の際に、そのままのサイズになっていることから、子ども達に見やすいし実践しやすくなっていることを評価する声があった。</p>
<p>(吉本委員長) 本件について質問や意見がなければ承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>(吉本委員長) 図画工作に移らせていただく。発行者は日本文教出版株式会社、書名は「図画工作」である。</p>
<p>(山田教育長) 採択理由の1点目は、発想や鑑賞の視点、表現の工夫等を示すなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されていること。2点目は、形や色のよさ・美しさを味わったり、児童のイメージを広げたりすることができる工夫があり、児童の学習意欲を高めるよう配慮されていること。3点目に、言語活動に関わる学習活動の工夫が見</p>

<p>られるということから絞り込んだ。</p>
<p>(吉本委員長) 本件について質問や意見がなければ承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>(吉本委員長) 家庭に移らせていただく。発行者は開隆堂出版株式会社、書名は「小学校 わたしたちの家庭科」である。</p>
<p>(山田教育長) 採択理由の1点目は、児童が生活に必要な基礎的・基本的知識・技能を確実に習得できる内容を構成し、家族や家庭生活を見つめ、関わりをもつ中で生かすことができるよう配慮されていること。2点目は、今日的な課題へ対応したり学習のポイントを示したりするなど、学習意欲を高める工夫がされていること。3点目は、導入部に「学習のめあて」を示し、まとめには自己評価の場面を設定するなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されていること。子ども達の考え方あるいは作業の進め方の流れが非常にわかりやすく順序立てて構成されていることを評価した。</p>
<p>(吉本委員長) 本件について質問や意見がなければ承認してよろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>(吉本委員長) 保健に移らせていただく。発行者は東京書籍株式会社、書名は「新しい保健」である。</p>
<p>(山田教育長) 採択理由の1点目は、学習に関連する資料や健康に関する話題を掲載するなど、児童が意欲的に学習できるよう工夫されていること。2点目は、学習方法を提示したり、課題解決に結び付く視点やヒントを示したりするなど、主体的に学習できるよう工夫されていること。3点目は、学習内容を確認する場面の設定など、学習のまとめができ、理解が深まるよう工夫されていること。保健については3・4年生で1冊、5・6年生で1冊という構成になっているが、特に今日的な話題である喫煙の問題、お酒の問題、薬物依存の問題、こうしたことにか</p>

なりスペースを取って詳しく説明している点も採択理由となっている。
(吉本委員長) 本件について質問や意見がなければ承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
(吉本委員長) 続いて、平成23年度使用小学校及び中学校特別支援教育用教科用図書に関しては、文部科学省検定済教科用図書の下学年用、文部科学省著作教科用図書、さらには一般図書を含めて教育委員会において採択をするということなので、このとおり採択してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
(吉本委員長) 本議案に関しては当初から時間をかけて議論し本日を迎え、また教育委員の皆さんの協力によって採択され、平成23年度から4年間これらの教科書を使用するということで決定された。総じて、私から一言発言させていただく。10年に1度という学習指導要領の変更によって教科書が検定を受けて、平成23年度から実施される訳だが、小学校6年生と中学3年生を対象にして行われている全国の学力あるいは学習状況調査、通称全国学力調査の結果、平成21年の北海道全般に関するの発表によると、算数の学力に関しては最下位であった。それから国語に関しては下から2番目だった。このような状況の中で、学校現場として平成23年度の教科書採択についてどのように考えていけばいいのかということを皆さんと議論してきたが、マンネリ化せず新風を送り込むという観点から、11教科中4教科もの教科書を前年から変更したという結果になった。これから先教科書が変わることによって、基礎・基本を含めて少しでも子ども達の学力が向上することを願ってやまない。
(吉本委員長) 私が発言したことも含め、本件について質問や意見がなければ承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)

－原案どおり承認－

議案第2号 新行政改革推進計画について

(学校教育部次長)

・本市では行政改革をさらに推進するため、新たな行政改革推進計画を平成22年9月に達成することを目指して、市長部局の総務部行政改革推進室でまとめの作業を行っている。この行政改革については全庁的な取り組みとなっており、市教委としても市長部局と一体となり歩調を合わせながら進めていきたいと思うので、学校教育部とスポーツ生涯学習部がそれぞれ検討してきた。お手元に苫小牧市行政改革プランの素案を配布しているので、教育委員会として教育委員会所管の項目について行政改革の趣旨等を踏まえながら方向性等について審議していただきたい。(以降、苫小牧市行政改革プラン(仮称)案に基づいて説明)

(吉本委員長) 本件についてご意見・ご質問をお受けする。

(佐藤守委員) 市立保育園と児童館・児童センターの一部が民間委譲や指定管理の方向性となっているが、一部とはどのような形になるのか。

(スポーツ生涯学習部長) 現在児童館は市内に6ヶ所あり、ここで触れているのは大成地区と弥生地区に2館で、いずれも老朽化が著しく建て替えの時期を迎えている。両館が地区的に近くにあることから、ひとつに統合し建て替え、その際に新たに指定管理者の制度を導入していきたいという意味で、他にも児童館はあるので、一部という表現になっている。

(鈴木委員) ハイランドスポーツハウスとはサイクリングターミナルの奥にある施設か。

(スポーツ生涯学習部長) そのとおり。
(佐藤郁委員) 中央図書館は、例えばコミセン等のように図書館出張所のような業務も一緒に指定管理者の業務になると考えていいのか。
(スポーツ生涯学習部長) 各コミセンはすでにすべて指定管理者制度が導入されているので、一緒と考えていい。
(教 育 長) 教育委員会に関わる施設が多く、これからいろいろと賛否両論あると思う。市全体の方向としてこのような考え方になっており、具体的に一つ一つの施設について今後教育委員会において意見を聞くことになっていくので、よろしくお願ひしたい。
(吉本委員長) 行政改革の中で、何がベストかということも含めて今後検討していきたい。本議案について承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
—原案どおり承認—
議案第 3 号 平成 2 2 年度教育費補正予算について
(学校教育部長)
・本議案について説明させていただく。(以降、議案第 3 号資料から拓勇小学校仮設校舎経費、小学校費、中学校費について説明)
(スポーツ生涯学習部長)
・(引き続き議案第 3 号資料から社会教育費、保健体育費について説明)
(吉本委員長) 本件について質問があればお受けする。
(佐藤守委員) 拓勇小学校のプレハブ校舎の件だが、新聞等でも話題になっているが

水回りの関係はしっかりしたものになっているのか。
(学校教育部長) 既存のプレハブと同じ6教室を2年間として考えており、その上で水
飲み場は付けたいと考えている。
(吉本委員長) 本議案については、承認するという事によろしいか。
(一同「異議なし」の声)
-原案どおり承認-
議案第4号 教職員の処分について
議案第5号 教育委員会職員の処分について
(議案第4号及び5号については人事案件のため、秘密会とする旨議決する)
5 協 議
協議案件なし
6 その他
(1) 学校訪問日程について
(総務企画課長)
・9月24日に教育委員会が開催されるので、その日の午前中に学校訪問を行いたい

が、よろしいか。

(吉本委員長) みなさんのスケジュールは大丈夫か。

(一同、日程を確認し承認)

7 委員会閉会の宣言 (吉本委員長) …16 時 47 分